

地域のもりから学ぶ森林づくり 2016

「森林の生物多様性を学ぶ」 第一回森林教室

第1回森林教室を、5月12日（木）定山溪中学生と旧三笠山スキー場跡地で実施しました。今回は「身近な自然を見に行こう」と題して、定山溪の身近な自然や森林を観察することを目的に実施しました。



観察区域にはどのような種類の植生が、どの程度の数あるのかを調べることにし、測量機器（ポケットコンパス）を用いて調べることにしました。



ポケットコンパスを使って
範囲25m×25mとして2箇所設定しました。



次に、自分たちが守ってきたカタクリやエゾエンゴサクが設定した範囲にどの程度生育しているのか調べることとし、1m四方枠を設定（13箇所）し、植生を一つ一つ調べました。



今回の調査結果は13箇所でカタクリが297本、エゾエンゴサク243本で全体の約75%を占めていました。また、25m×25m範囲の2箇所に置き換えると、カタクリだけでも約28,600本あることがわかりました。

みんなで守り呼びかけてきたことにより、カタクリなどがたくさん咲き誇る群生地としての成果が出てきたようです。多くの方々がこの景観を見に来るようになりました。

カタクリ



エゾエンゴサク



定山溪の街の周辺には、この他にも豊かな自然がたくさんあります。是非、森林を散策してみましょう。

今後の日程

・ 7月7日（木）

第2回森林教室（定山溪小学校）

定山溪の森を学ぶ



・ 7月14日（木）

第3回森林教室（定山溪中学校）

シカ食害箇所の調査など

